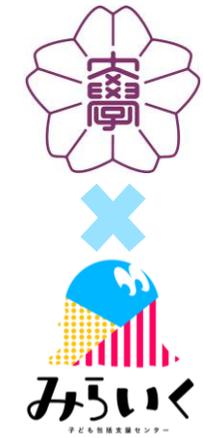
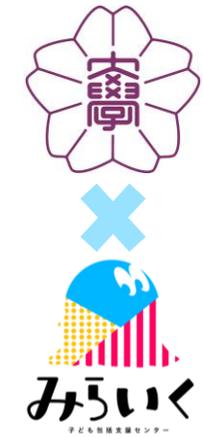


【令和6年度】 実践女子大学×みらいく 連携実績まとめ



目次

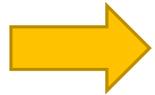
- 実践女子 × みらいく 連携の概要 03
- 令和6年度 連携事業一覧 05
- 各連携事業 06



実践女子 × みらいく 連携の概要

2つの連携協定

- 平成26年 日野市と学校法人実践女子学園との相互協力・連携に関する包括協定
- 平成29年 日野市と学校法人実践女子学園との子育て支援に関する連携協定



目的

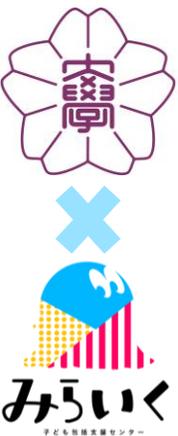
両者の連携協力により、日野市の子育て支援環境をさらに向
上させるとともに、地域の子育て支援活動の発展に寄与する

みらいくの建設

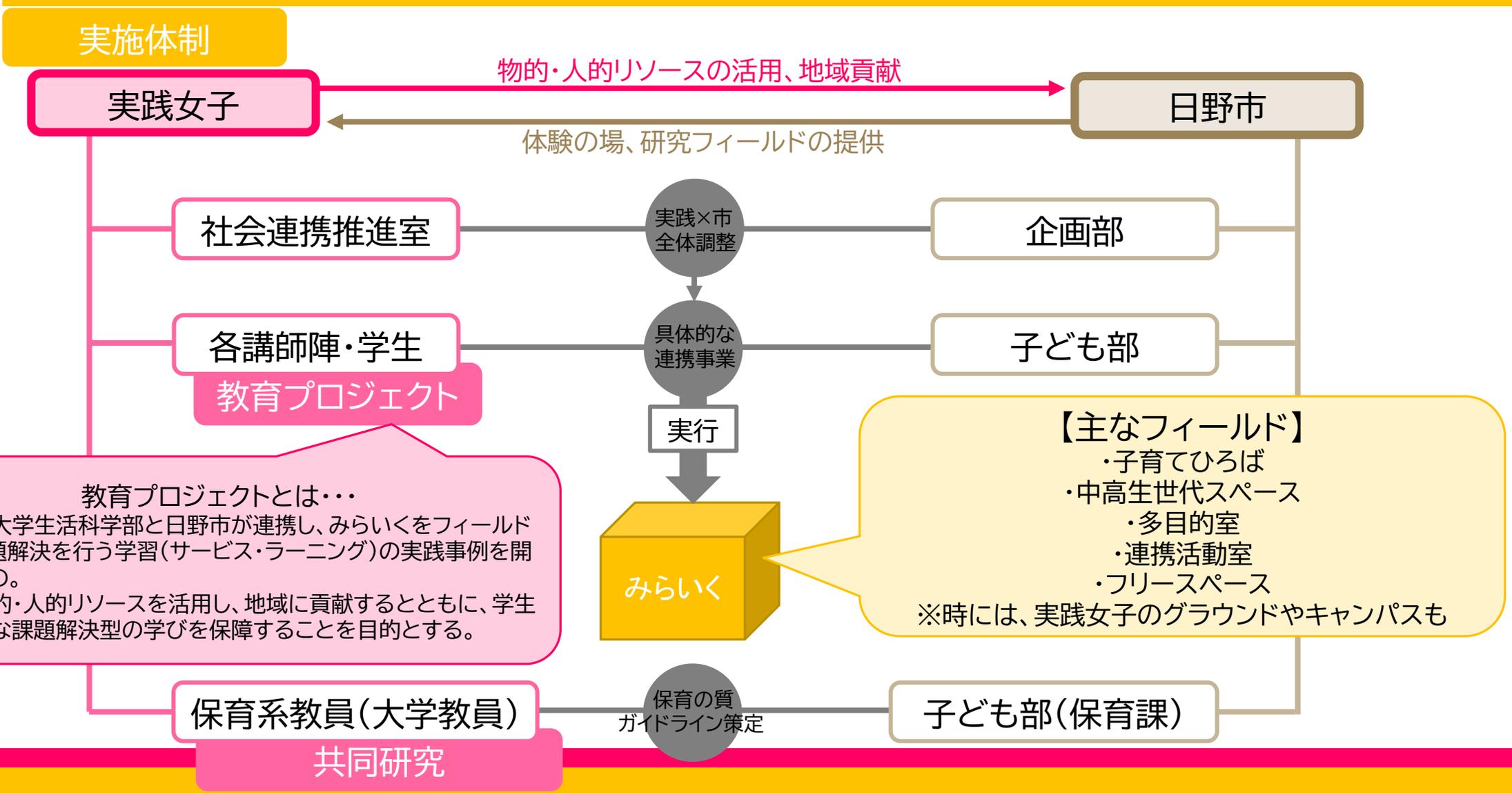
連携の一環として、実践女子学園の所有する土地を無償貸与いただき、日野市における「すべての子ども
の健やかな成長を切れ目なく支援する子ども・家庭・地域の子育て機能の総合支援拠点」として「日野
市子ども包括支援センター みらいく」を建設し、令和6年5月27日にオープン。

みらいく稼働後

みらいくを使ったイベントや講演会を共同開催する、みらいく子育てひろばで実践女子大学から講師を
招いて講座を開催するなど、みらいくオープン後も積極的な連携活動を行うことで、目的達成を目指し
ている。また、連携を行う中で、学生の体験的な課題解決の学びを深めたり、学生・講師の地域での活躍
の場、研究の場を広げている。



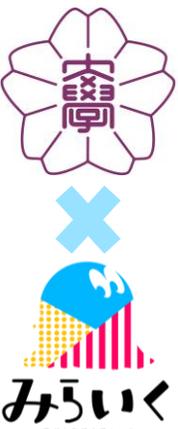
実践女子 × みらいく 連携の概要





令和6年度 連携事業一覧

No	事業名
1	実践女子大学教育プロジェクト公開講座 『中高生世代支援のための基礎知識 思春期の心とからだについて理解する』
2	みらいく子育てひろば・中高生世代スペースオープニングイベント 『ぺたぺたさんと「みらいく」探検スタンプラリー』
3	みらいく特別講義 『日野市を知る、理解する～子ども家庭支援センター～』
4	親子音楽遊びワークショップ 『民族楽器に触れ、音を楽しもう』
5	講座 『乳児の安全と健康～危ないところはどこ？子どもの目線になってみよう～』
6	中高生向けワークショップ 『“心のかたち”、あなたは何型？自分の心を見てみよう』
7	食育関係講座① 『非常時でも、非常時以外でも役立つパッククッキング』
8	食育関係講座② 『子どものころからの食の重要性について考えよう』
9	乳幼児親子向けイベント 『みらいく親子運動会』



教育プロジェクト対象事業

No	1	事業名	実践女子大学教育プロジェクト 公開講座 『中高生世代支援のための基礎知識 思春期の心とからだについて理解する』			
連携者		実践女子			×	日野市
		生活科学部生活文化学科 教授 塩川 宏郷 氏				子ども部子ども家庭支援センター
実践女子大生		参加者数	3	人	一般	参加者数
					30	人
日時	令和6年6月15日(土) 10:00~12:00			フィールド	みらいく多目的室1~4	
実施内容						
<p>子ども包括支援センターみらいく中高生世代スペース(令和6年6月24日オープン)のプレオープニングイベントとして、主に業務で中高生世代と接する支援者を対象に公開講座を実施。小児科医でもある塩川教授を講師に招き、心も体も大きく変化する時期である思春期について、発達障害や行動面の問題に対応するための基礎的な部分を中心に講義を行った。参加者の大半は中高生世代支援の現場に関わる者であり、自身の体験を踏まえた質疑応答が盛んに行われた。「支援者の知っておく基礎知識が幅広く学べてよかった。」、「思春期の子どもへの向かい方のヒントを学ぶことができました」など、参加者から好評を得た。</p> <p>【主催】実践女子大学 【共催】日野市</p>						



教育プロジェクト対象事業

No

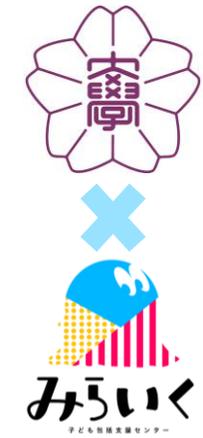
1
写真

事業名

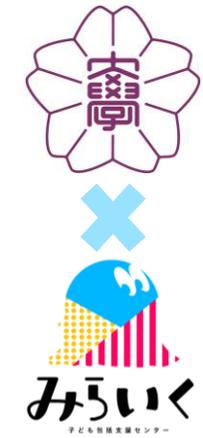
実践女子大学教育プロジェクト 公開講座 『中高生世代支援のための基礎知識 思春期の心とからだについて理解する』

実施写真





No	2	事業名	みらいく子育てひろば・中高生世代スペースオープニングイベント 『ぺたぺたさんと「みらいく」探検スタンプラリー』			
連携者	実践女子			×	日野市	
	生活科学部生活文化学科 教授 井口 眞美 氏ほか ※詳細は次頁別紙にて				子ども部子ども家庭支援センター	
実践女子大生 参加者数		約40	人	一般 参加者数		約310 人
日時	令和6年6月29日(土) 9:30~12:30		フィールド	みらいく全館		
実施内容						
<p>みらいく子育てひろばと中高生世代スペースのオープン及びそれによるみらいく全館のオープンを記念した、子ども向けイベントを開催。イベントでは、みらいくを知ってもらうために館内各所にブースを設け、スタンプラリー形式とすることで、みらいくや日野市の子育てについて知っていただいた。</p> <p>各ブースにおいては、実践女子大生が各々の得意分野を生かして大活躍。多数のブースを展開し、来場者を楽しませた。全館にブースを散りばめたことにより、各講師陣、学生におけるそれぞれの専門分野を生かした活動を行うことができ、それぞれの成果や課題を感じることもできた。</p> <p>※ブース詳細は次頁別紙にて</p> <p>【主催】日野市 【協力】実践女子大学</p>						



No

2
別紙

事業名

みらいく子育てひろば・中高生世代スペースオープニングイベント
『ぺたぺたさんと「みらいく」探検スタンプラリー』

参加講師陣

生活科学部生活文化学科 教授 井口 眞美 氏
生活科学部生活文化学科 助教授 大澤 朋子 氏
生活科学部生活文化学科 専任講師 笠原 良太 氏
生活科学部現代生活学科 教授 須賀 由紀子 氏
生活科学部食生活化学科 准教授 辛島 順子 氏
生活科学部食生活化学科 准教授 山岸 博美 氏

実践女子出展ブース

- パネルシアターがはじまるよ！
- KAPLA何本積めるかな？ギネスにチャレンジ！
- 食育クイズ①たべものを仲間分けしてみよう
- 食育クイズ②野菜クイズ
- 食育クイズ③たべもの何からできてるクイズ
- 遊びひろば①魚つりをしよう
- 遊びひろば②ぺたぺたさんパズルで遊ぼう
- 遊びひろば③たべもの玉入れ
- 多世代カルタで遊ぼう



教育プロジェクト対象事業

No

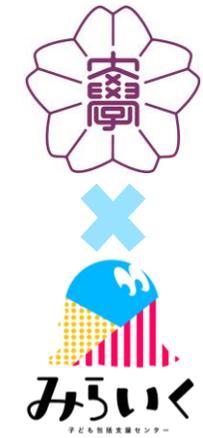
2
写真

事業名

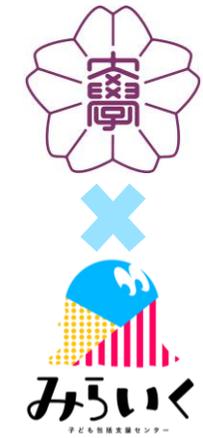
みらいく子育てひろば・中高生世代スペースオープニングイベント
『ぺたぺたさんと「みらいく」探検スタンプラリー』

実施写真





No	3	事業名	みらいく特別講義 『日野市を知る、理解する～子ども家庭支援センター～』			
連携者	実践女子			×	日野市	
	生活科学部食生活化学科 教授 白尾 美佳 氏				子ども部子ども家庭支援センター	
実践女子大生 参加者数		約27	人	一般 参加者数		0 人
日時	令和6年7月5日(金) 11:00～11:30		フィールド	みらいく多目的室		
実施内容						
<p>白尾教授の講義の一環として、『大学のある日野市を知る、理解する』をテーマにした講義で、普段の教室、キャンパスではなくみらいくで実施した。</p> <p>主な内容は子ども家庭支援センターの役割や業務について、市内の子育て支援施策について、といった知識的な内容から、子育てひろばや中高生世代スペース、キッチンスペースなどのみらいく館内見学も合わせて実施した。</p> <p>学生が日野市のことを知り、そしてみらいくも含めて、日野市をより身近に感じるきっかけづくりの一つにできた。</p>						



教育プロジェクト対象事業

No	4	事業名	親子音楽遊びワークショップ 『民族楽器に触れ、音を楽しもう』			
連携者	実践女子			×	日野市	
	生活科学部生活文化学科 助教 小坂 光 氏				子ども部子ども家庭支援センター	
実践女子大生	参加者数	1	人	一般	参加者数	26
						人
日時	令和6年10月30日(水) 10:00~11:00		フィールド	みらいく子育てひろば		
実施内容						
<p>音楽教育を専門としている小坂助教を講師に招き、様々な民族楽器を使った音と触れ合うワークショップを開催。</p> <p>小坂助教と学生が、絵本を読み聞かせながらストーリーに合わせて民族楽器を演奏し、その後、参加親子も2グループに分かれてそれぞれ絵本に合わせた音楽を創作した。</p> <p>参加者は乳幼児親子だったため、乳幼児自身は集団的な演奏はできないものの、講座終了後も民族楽器に自由に触れることができたため、様々な楽器に興味を持ち、音を楽しむことができた。</p> <p>また、学生の体験的な学びにも資することができた。</p> <p>【主催】実践女子大学、日野市</p>						



教育プロジェクト対象事業

No

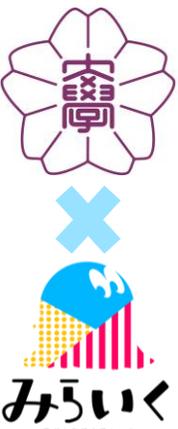
4
写真

事業名

親子音楽遊びワークショップ
『民族楽器に触れ、音を楽しもう』

実施写真





教育プロジェクト対象事業

No	5	事業名	講座 『乳児の安全と健康 ～危ないところはどこ？子どもの目線になってみよう～』			
連携者	実践女子			×	日野市	
	生活科学部食生活化学科 教授 佐々木 溪円 氏				子ども部子ども家庭支援センター	
実践女子大生	参加者数	-	人	一般	参加者数	14 人
日時	令和6年11月20日(水) 10:15~11:30		フィールド	みらいく子育てひろば		
実施内容						
<p>乳幼児の生活や行動に詳しい佐々木教授を講師に招き、みらいく子育てひろばを舞台にして体験型メニューを組み込んで講座を開催した。</p> <p>乳幼児の特性や事故予防、応急手当方法といった“知識”の提供だけではなく、子どもの目線を体験できるゴーグルを装着し、子ども目線でどんな場所が危ないのか、などを実際に“体感”することで、事故に対する意識を強めることができた。</p> <p>子育てひろばならではの講座であり、参加者の意欲も非常に高かった。</p>						
【主催】実践女子大学、日野市						



教育プロジェクト対象事業

No

5
写真

事業名

講座
『乳児の安全と健康
～危ないところはどこ？子どもの目線になってみよう～』

実施写真





No	6	事業名	中高生向けワークショップ 『“心のかたち”、あなたは何型？自分の心を見てみよう』			
連携者	実践女子			×	日野市	
	生活科学部生活文化学科 教授 塩川 宏郷 氏				子ども部子ども家庭支援センター	
実践女子大生	参加者数	-	人	一般	参加者数	8 人
日時	令和6年11月27日(水) 16:30~17:20		フィールド	みらいく多目的室2		
実施内容						
<p>中高生世代を対象にした、プレコンセプションケアに繋がるワークショップを実施。 「心理学の勉強は、“相手の心は分からない”ことが分かる。」という導入で、一気に参加者を引き込み、エゴグラムテスト(心理テスト)を用いることで、中高生にも親しみやすい雰囲気が進められた。参加者は自分がどんな心(性格)なのか、「意外だった」「思った通り」など様々な感想を抱き、自分のことを知る、考えるきっかけとなった。</p> <p>一方で、参加者の参加意欲は決して高いものではなく、中高生自身を対象としたワークショップの難しさが課題として浮き彫りになった。</p> <p>【主催】実践女子大学、日野市</p>						



教育プロジェクト対象事業

No

6
写真

事業名

中高生向けワークショップ
『“心のかたち”、あなたは何型？自分の心を見てみよう』

実施写真





教育プロジェクト対象事業

No	7	事業名	食育関係講座① 『非常時でも、非常時以外でも役立つパッククッキング』			
連携者	実践女子			×	日野市	
	生活科学部食生活化学科 准教授 山岸 博美 氏				子ども部子ども家庭支援センター	
実践女子大生	参加者数	-	人	一般	参加者数	15 人
日時	令和6年12月18日(水) 10:20~11:20		フィールド	みらいくキッチンスペース		
実施内容						
<p>災害等の非常時に特に役に立つ「パッククッキング(耐熱性のポリ袋に食材を入れ、袋のまま鍋で湯せんする調理方法)」を、給食経営管理学を専門とする山岸准教授から参加者にレクチャー。 みらいくの特徴的な設備の一つである「キッチン」を利用し、「蒸しパン」の調理を実演して説明することで、参加者の理解度を深めることができた。 また、みらいくのキッチン活用の第一歩として、今後の活用方法について検討する良い機会にもなった。</p> <p>【主催】実践女子大学、日野市</p>						



教育プロジェクト対象事業

No

7
写真

事業名

食育関係講座①
『非常時でも、非常時以外でも役立つパッククッキング』

実施写真





教育プロジェクト対象事業

No	8	事業名	食育関係講座② 『子どものころからの食の重要性について考えよう』			
連携者	実践女子			×	日野市	
	生活科学部食生活化学科 教授 白尾 美佳 氏				子ども部子ども家庭支援センター	
実践女子大生	参加者数	-	人	一般	参加者数	13 人
日時	令和7年1月31日(金) 10:15~11:30		フィールド	みらいく子育てひろば		
実施内容						
<p>食品栄養学や食育の専門家である白尾教授による食育講座。①食生活に関する現状と課題、②食育とは、③子どもの食育(乳児期・幼児期の食育)、④子どもの食育で期待すること、の4つをテーマに講座は進行した。</p> <p>子育てひろばのゆったりとしたスペースで足を崩して実施したこともあり、「子どもにあげる食品は国産の方がよい?」、「食ベムラと向き合い方は?」など、参加者との質疑応答も活発で、コミュニケーションを図りながら参加者の理解を深めることができた。</p>						
【主催】実践女子大学、日野市						



教育プロジェクト対象事業

No

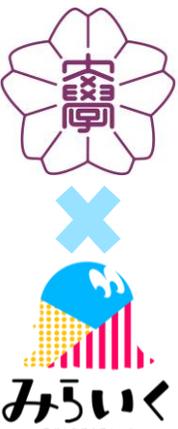
8
写真

事業名

食育関係講座②
『子どものころからの食の重要性について考えよう』

実施写真





教育プロジェクト対象事業

No	9	事業名	乳幼児親子向けイベント 『みらいく親子運動会』			
連携者	実践女子			×	日野市	
	生活科学部生活文化学科 教授 井口 眞美 氏、 同学科 助教授 大澤 朋子 氏、同学科 専任講師 笠原 良太 氏				子ども部子ども家庭支援センター	
実践女子大生	参加者数	10	人	一般	参加者数	約75 人
日時	令和7年3月22日(土) 10:00~11:00		フィールド	実践女子大学グラウンド		
実施内容						
<p>みらいくに隣接する実践女子大学グラウンドの芝生を特別開放し、乳幼児親子による運動会を開催。幼児教育学を専門とする井口教授の指導の下、幼児教育を学ぶ学生らが、親子で楽しめる競技と子どもたちに人気の音楽を組み合わせたプログラムを自分たちで考案し、当日の運営まで行った。参加者からの評判もよく、学生が主体的に事業に取り組み、地域の子育て世帯と交流する等事業は、まさにみらいく連携が目指すべき姿の一つであるように感じられた。</p>						
【主催】実践女子大学、日野市						



教育プロジェクト対象事業

No

9
写真

事業名

乳幼児親子向けイベント
『みらいく親子運動会』

実施写真

